

平成29年10月教育委員会定例会 会議録

平成29年(2017)10月24日(火)午後1時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 長	榎 野 信 幸
教育委員(教育長職務代理)	下 手 泰 子
教 育 委 員	松 浦 剛 司
教 育 委 員	小豆澤 貴 洋 子
教 育 委 員	水 陽 子

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長(学校教育課長)	安 井 孝 治
教育部次長(教育施設課長)	金 山 隆 司
教 育 政 策 課 長	渡 部 祐 子
児 童 生 徒 支 援 課 長	児 玉 弘 之
学 校 給 食 課 長	金 森 真 治
出 雲 科 学 館 館 長	山 本 利 明
学 校 教 育 課 主 査	佐 藤 協 之
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	松 井 博 之

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

4. 傍聴者

1人

開会

(槇野教育長) 只今から、平成29年10月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1. 教育長行政報告

(槇野教育長) それでは、教育長行政報告を行います。

(槇野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

- H29.9.27 市議会最終日
- H29.9.29 長浜小学校と韓国の小学校との国際交流事業
- H29.10.1 科学作品展表彰式・優秀作品発表会
- H29.10.2 新規採用職員正式任用式
- H29.10.2 外国語教育推進研修会 ～10.3
- H29.10.4 学校訪問 ～10.5
- H29.10.4 幼小中同和教育主任研修会
- H29.10.8 出雲駅伝開会式
- H29.10.9 出雲駅伝
- H29.10.12 管内教育長会・研修会
- H29.10.12 県学力育成会議
- H29.10.16 まちづくり懇談会(今市)
- H29.10.17 学校訪問
- H29.10.19 中国都市教育長会(松江市) ～10.20
- H29.10.20 県幼児教育研究大会
- H29.10.21 第三中学校竣工式
- H29.10.21 第二中学校創立70周年記念式典
- H29.10.22 隣保館まつり
- H29.10.24 定例教育委員の会議
- H29.10.24 保幼小交流の日

(2) 今後の予定

- H29.10.26 いじめ問題対策委員会
- H29.10.26 管内教育長会
- H29.10.27 校長会との懇談会
- H29.10.27 まちづくり懇談会(荘原)
- H29.10.30 市議会全員協議会

H29.11.1 まちづくり懇談会(鳶巣)
H29.11.2 新規採用教職員連絡協議会
H29.11.5 浜山中学校開校30周年記念式典
H29.11.7 校長の会議
H29.11.7 まちづくり懇談会(四絡)
H29.11.8 学校訪問 ～11.9
H29.11.9 人権作文・ポスター表彰式
H29.11.9 出雲医師会との懇談会
H29.11.10 中学生議会
H29.11.17 原子力防災訓練
H29.11.18 同和教育研究発表大会(直江地区)
H29.11.18 まちづくり懇談会(神西)
H29.11.21 乙立小学校・朝山小学校再編統合推進委員会
H29.10.24 定例教育委員の会議

(槇野教育長) 今の報告で、質問等がありますか。

(各教育委員) ありません。

2. 会議録の承認

(槇野教育長) それでは続きまして会議録の承認に入ります。前回9月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 特に意見等ありませんので、9月定例会の会議録については承認といたします。

3. 報告

(槇野教育長) 本日は議事案件がありませんので、報告事項に入ります。報告(1)「学校訪問について」を、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 学校訪問につきまして、ご感想などがあれば、それぞれお聞かせいただ

きたいと思います。下手委員さんの方からお願いします。

(下手委員) それぞれの学校に、地域性のようなものがあって、それが特色になっているなど感じました。それから子どもたち全般に、とても落ち着いて生活していることが感じられて、良かったです。また今月、幼稚園の教育研究大会も見させていただいて、幼児期から道德教育も踏まえながらきちんとした教育をなさっていて、とてもいい感じで、教育ができていると感じました。

(榎野教育長) マイナスの部分は、ありませんでしたか。

(下手委員) 以前は、少し落ち着かないなどと思ってみたことがありましたが、今回はとても落ち着いて授業を受けていて、新任の先生も、上手に落ち着いて授業をしていて良かったと思いました。

(榎野教育長) ありがとうございます。松浦委員さん、お願いします。

(松浦委員) 今年の前半戦が終わったときに、もう少し学校の中や授業を見たいと言っていたのですが、要望をかなえていただいて、授業を見せていただいて良かったと思いました。一方で、さくら小学校に地盤沈下があって、ああいうトラブルというか根本の解決策が見出せないような問題があったり、すずらん教室もハードな建物の要望もありましたし、この先まだまだ大きな改善点もあって、驚きでした。それから、学校の貼り物の工夫ですね、廊下の使い方がすごくいいところと、妙に殺風景に感じられるところがあって、非常に差が出るなど思った次第です。非常に工夫されている学校は、スペースも無駄なく使っておられて、そういった学校はいい学校経営をしておられるのかなと、ついつい位置づけてしまいますけれど、そういった違いが感想としてあります。

(榎野教育長) 掲示の方は、廊下に貼ってあるものは学校によって工夫して、いろいろなことを掲示しておられて、面白いものやすばらしいものがあると思いますが、教室の掲示については、できるだけ前面には貼らないというような学校もあります。結局子どもの注意が散漫にならないように、あるいは子どもの特性によってはそういったものがあると集中できないというようなことがあって、教室の前はできるだけきれいにシンプルにしているところはあります。ただ、あまりそういうことを関係なくいろいろやっているところもあって、教員や学校の考え方によって、教室内の掲示は若干違うということはあるかもしれません。

続いて水委員さん、お願いします。

(水委員) いろいろな学校を見させていただきましたが、地域やあるいは建物のハード面も、差が大きいのを実感しました。最後にすずらん教室と幼稚園へ行かせていただいて、普通の学校生活の適応が難しい子どもさんに対する受け皿というのが、もっと要望が大きくなるのではないかと感じました。

(槇野教育長) 今までご覧になってこられたのは、割と地元の学校が多かったと思いますが、ほかの学校を見られて何か違いとか、驚かれたというようなことはありませんか。

(水委員) 校長先生の方針とか考えというのは、やはり学校それぞれ影響が大きいということを感じました。多伎町は規模が非常に小さいので、寂しさを感じます。それでもそれぞれの特性を活かしていくのが最善かなと思います。

(槇野教育長) それぞれの地域の違いだったり、規模の違いだったりありますけれど、それぞれがその環境の中で一生懸命取り組んでいますので、まだあと二日の中で、視点を変えながら見ていただければと思います。

(槇野教育長) それでは次に、報告（２）「平成２９年度全国及び市学力・学習状況調査に係る結果について」と、報告（３）「平成２９年度全国及び市学力・学習状況調査結果分析及び改善策について」を、 教育部 安井次長 に説明をお願いします。

(安井次長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、報告（２）、報告（３）について、何か質問等はありませんか。

(下手委員) この市の調査で使われた調査は、たくさんの学校が受けているような規模の業者ですか。

(安井次長) 市の調査は、民間の業者にお願いをしております、具体的な会社は東京書籍です。ここは全国規模でこうした学力調査をやっているところで、民間の中では一番大きい部類の会社です。母体としては、教科によって違いますが、国語や算数、数学においては大体８万人ぐらいが総数だと聞いております。

(下手委員) わかりました。

(槇野教育長) ほかはいかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 今の改善策については、分厚い内容となっておりますので、またご覧いただいて、今後ご意見なりご質問がありましたらお願いしたいと思います。

(槇野教育長) 次に、報告（４）「中学生議会について」を、 教育部 安井次長 に説明をお願いします。

(安井次長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 教育委員会で答えるのは2件ということだと思いますので、私と教育部長で答弁は対応させていただきたいと思っておりますがよろしいですか。

(各教育委員) はい。

(槇野教育長) 只今の、報告(4)について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 次に、報告(5)「平成29年度(1学期)出雲市立小・中学校における問題行動等について」を、児童生徒支援課 児玉課長 に説明をお願いします。

(児玉課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、報告(5)について、何か質問等はありませんか。

(松浦委員) いじめに関して、オープンにしていきましようという措置になって、そうしたことによって被害の縮小化というようなことは見られますか。明るみに出やすくなったことで先生方の指導が早く入って、いじめの被害のランク付けをしたときに、初期段階の方が多くなったとか、そういうことのデータは取れていますか。

(児玉課長) データは特にありませんが、かなり初動のところで、学校の組織として認知をして対応するという事は、以前に比べるとかなり迅速に行われるようになっていると、私たちは認識しております。

(松浦委員) わかりました。

(下手委員) こういう問題行動も不登校もですけど、学校によってその傾向が強い、多いというような状況はあるのでしょうか。

(児玉課長) 決まった学校がいつも報告数が多いということは言えませんが、傾向は年度によってかなり違います。

(下手委員) 偏っていることもある、ということですか。

(児玉課長) いじめについても、報告が上がらない学校もありますが、ただ報告する学校が増えたということは确实です。

(槇野教育長) ほかにありませんか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 次に、報告（６）「北朝鮮の弾道ミサイル発射時におけるＪアラート放送への対応について」を、児童生徒支援課 児玉課長 に説明をお願いします。

(児玉課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、報告（６）について、何か質問等はありませんか。

(小豆澤委員) 「登下校時」というのがイメージが付きにくいというか、学校から家までの間にいるときに、子どもたちはＪアラートが鳴っているという情報は入らないですよ。

(児玉課長) わかりません。

(小豆澤委員) そういったことをイメージすると、この項目は、現実味がちょっと薄く感じてしまいます。

(児玉課長) いろいろなケースが想定されてきて、例えば通行途中で近所の方、あるいは市民の方が、今こういう状況だということをお知らせいただいたり、あるいはスクールバスに乗っている子どもたちには、運転手さんが伝えたりとか、いろいろな状況が想定されるので、なかなか一律には難しいというのが、正直なところです。

(槇野教育長) 私たちもこれを作っているときに、現実に子どもが知る術がないということで話しましたが、これは保護者あてにも出しましたが、学校から関係者へ、例えば見守りをやっていたりしている方とかには当然出していただきますし、地域の多くの方に、こういうことで対応の協力をお願いすることになります。それから、県の方もこういったものを出してしまっていて、一応登下校のときの対応を、県の内容と同じようにしてあります。このとおりいくということではないですけど、何らかの心構えというか、意識を持っておかなければということでの文書の発出だと思います。

(槇野教育長) 次に、報告（７）「科学館講演会の開催について」を、出雲科学館 山本館長 に説明をお願いします。

(山本館長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の、報告（７）について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

4. その他

(榎野教育長) では、「その他」に入ります。 教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 渡部課長 に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(榎野教育長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) ありません。

5. 次期教育委員会の開催時期

(榎野教育長) 次期教育委員会の日程ですが、11月24日(金)の午後2時から、市民応接室で開催いたします。

6. 閉会

(榎野教育長) 以上をもちまして、教育委員会10月定例会を閉会します。

(14:03) 定例教育委員会閉会